

平成 22 年 度

事 業 報 告 書

財団法人三重県下水道公社

< 目 次 >

1	活動概要	1
2	会社の概要	
1)	設 立	2
2)	本部と浄化センターの所在地	2
3)	目 的	2
4)	事業内容	2
5)	基本財産	3
6)	役員及び評議員	3
7)	組織及び職員構成	4
8)	理事会等の運営状況	5
3	実施事業の概要	
1)	独自事業	7
2)	受託事業	7
4	事業実施報告	
1)	独自事業	
ア	普及啓発事業	8
イ	研修事業	8
ウ	排水設備工事責任技術者認定事業	8
2)	受託事業	
ア	流域下水道の維持管理に関する業務	10
イ	流域下水道汚泥処理業務	14
ウ	普及啓発施設管理業務	15
エ	普及啓発業務	16

1 活動概要

平成22年度は、三重県流域下水道施設における指定管理者として、県が設置する浄化センターの安定的な維持管理を行い、またコスト抑制運転の継続に努めてまいりました。

年間の流入水量は、62,618,323 m³（対前年比102.3%）でした。

汚泥処理については、含水率と水処理への影響を考慮しながら、41,530.35 t（対前年比103.7%）を処理しましたが、そのほぼ全量をセメント原料としてリサイクルしていることから、県の環境施策である循環型社会の構築に寄与しました。

このような中、北部浄化センターにあっては、現行の処理施設を前提に最適な薬剤処理を行うことにより、薬剤調達費用及び汚泥発生量の削減、臭気抑制を図るため、プロポーザル方式による薬剤処理業務を導入いたしました。

なお、危機管理の向上を図るため、水質監視パトロールを行うとともに、下水道管路の水質調査に加え、これまで各流域市町が、それぞれ行ってきた県管路との接続点における水質分析について、当公社の水質分析センターで行うことにより、市町負担の軽減を図るとともに、水質分析項目を統一し、悪水流入の未然防止活動に努めました。

また、県から受託している普及啓発施設「高須町公園オートキャンプ場」について、利用件数は1,172件（前年比96.5%）と前年度に比し減少したものの、利用者は6,429名（前年比102.0%）と前年度に比し増加となりました。

利用料収入は、平成18年度（当公社受託前）に比し、13.4%増加しておりますが、依然として支出が収入を上回っているため、平成23年度から管理運営については、民間事業者のノウハウを活用し、より一層の収入増を図るとともに、施設利用者が支障を来さないよう施設及び設備の「安全で安心」な維持管理に努めてまいります。

2 会社の概要

1) 設 立 昭和62年7月1日〔民法第34条に基づく財団法人〕

2) 本部と浄化センターの所在地

名 称	位 置	TEL FAX
本部	〒515-0104 松阪市高須町 3922 番地	0598-53-4865 0598-53-4867
北部浄化センター	〒510-8114 三重郡川越町大字亀崎新田 80 番地の 2	059-365-3181 059-365-3183
南部浄化センター	〒510-0103 四日市市楠町北五味塚 1085 番地の 18	059-397-7411 059-397-7413
雲出川左岸浄化センター	〒514-0301 津市雲出鋼管町 52 番地の 5	059-235-1755 059-235-1756
松阪浄化センター	〒515-0104 松阪市高須町 3922 番地	0598-53-4865 0598-53-4867
宮川浄化センター	〒516-0001 伊勢市大湊町 1126 番地	0596-36-3841 0596-36-3843
高須町公園 オートキャンプ場	〒515-0104 松阪市高須町 3227 番地の 8	0598-53-1055 0598-53-1056

3) 目 的

公社は、下水道に関する知識の普及及び啓発等の事業を行うとともに、三重県が設置する流域下水道の維持管理業務を受託することにより、三重県及び県下市町の下水道事業の振興を図り、もって県民の健康で快適な生活環境の向上と公共用水域の水質保全に寄与することを目的とする。

4) 事業内容

- (1) 下水道知識の普及と啓発に関すること。
- (2) 下水道技術者の養成に関すること。
- (3) 下水道技術の調査及び研究に関すること。
- (4) 下水道事業の技術的業務の協力に関すること。
- (5) 流域下水道の維持管理業務の受託に関すること。
- (6) 下水道の水質分析等の受託に関すること。
- (7) その他公社の目的を達成するために必要な事業。

5) 基本財産 56,000千円

〈出捐金の内訳〉

出捐者	出捐金 (千円)	出捐割合
四日市市	4,014 (内訳：北部3,335、南部679)	50%
桑名市	3,831	
いなべ市	729	
東員町	529	
菰野町	837	
朝日町	243	
川越町	496	
津市	4,594 (内訳：雲出4,000、松阪594)	
鈴鹿市	4,281	
亀山市	1,040	
松阪市	3,211	
多気町	195	
伊勢市	3,216	
明和町	400	
玉城町	384	
三重県	28,000	50%

6) 役員(理事、監事)及び評議員

任期：平成21年4月1日から平成23年3月31日まで

【役員】

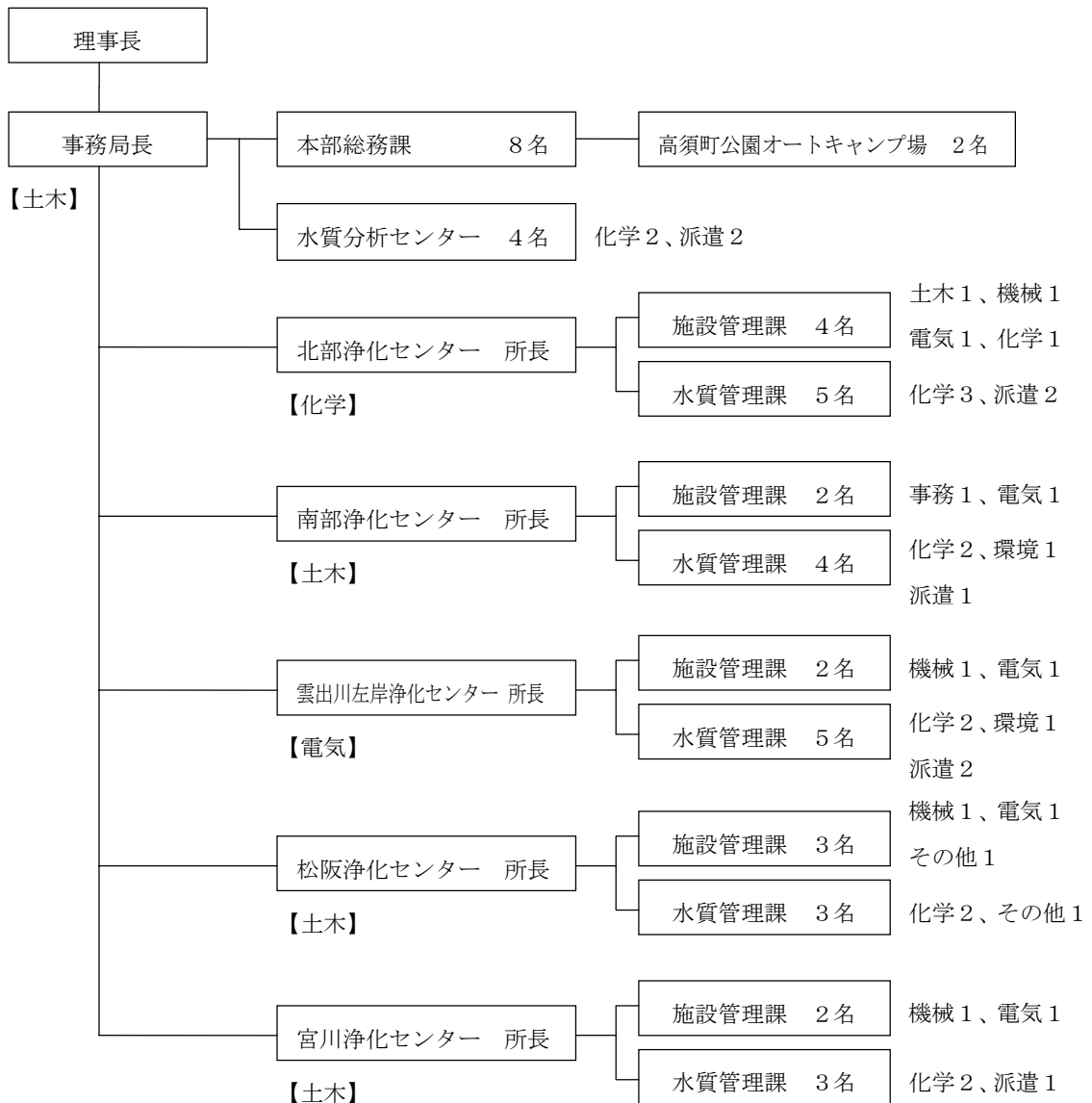
役職名	氏名	所属及び職名
理事長	田岡光生	(財)三重県下水道公社
副理事長	宮田重和	伊勢市上下水道部長
理事	横田明人	津市下水道部長
理事	樋口和人	四日市市上下水道局管理部長
理事	松尾茂生	松阪市上下水道事業管理者
理事	西脇孝司	桑名市建設部長
理事	草川喜雄	鈴鹿市都市整備部長
理事	舘善雄	川越町事業部長
理事	花谷郁生	三重県県土整備部流域整備分野総括室長
理事	落合厚仁	三重県環境森林部地球環境・生活環境分野総括室長
監事	松田幸一	玉城町上下水道課長
監事	松下裕也	税理士

【評議員】

役職名	氏 名	所属及び職名
評議員	林 拙 郎	三重大学大学院教授
評議員	安 藤 三 成	いなべ市水道部長
評議員	三 谷 久 夫	亀山市上下水道部長
評議員	水 谷 史 郎	東員町建設部長
評議員	河 内 耕 二	菰野町下水道課長
評議員	中 村 司	朝日町上下水道課長
評議員	歌納木 実 生	多気町上下水道課長
評議員	樋 口 昌 弘	明和町上下水道課長

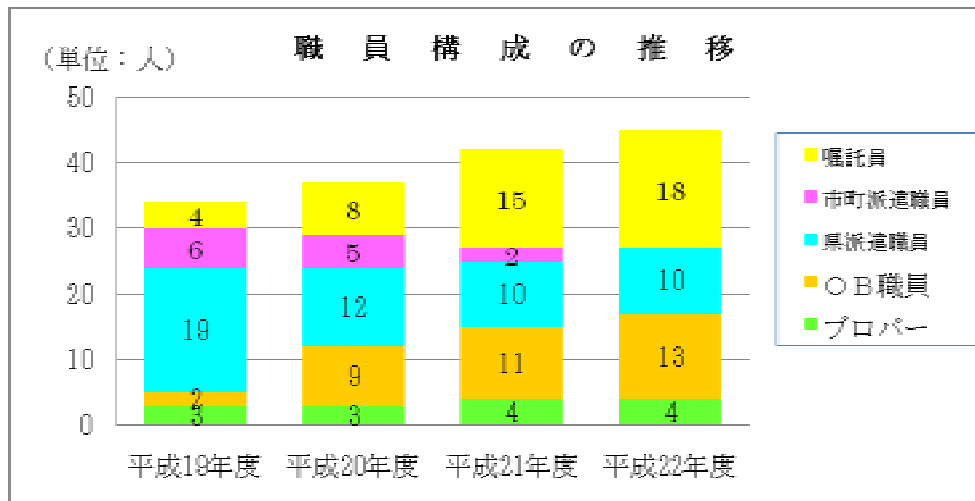
7) 組織及び職員構成

≪組織図≫

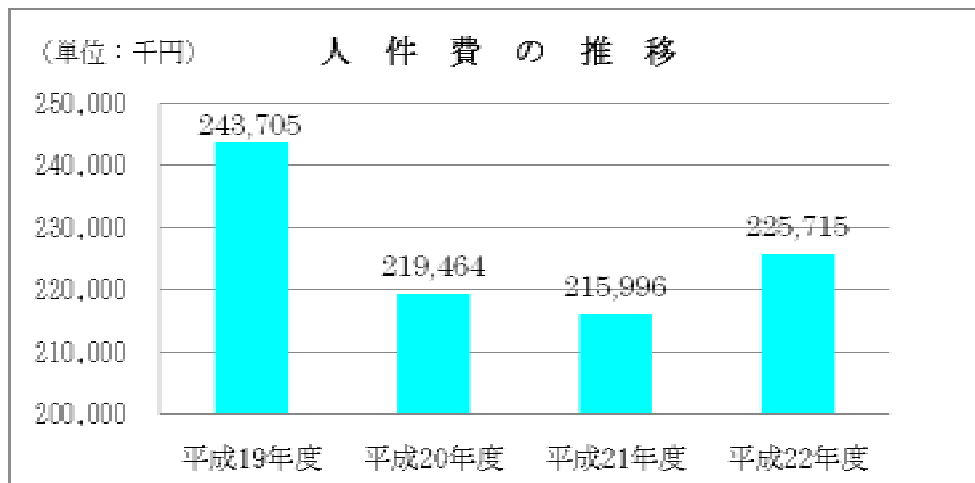


この他に補助員合計9名

《職員構成》



《人件費の推移》



8) 理事会等の運営状況

○ 理事会

(1) 第51回理事会 平成22年5月26日(水) 於 三重県教育文化会館

第1号議案 副理事長の選任について

寄付行為第13条第4項の規定に基づき承認

第2号議案 平成21年度事業報告及び収支決算並びに財産目録の承認について

寄付行為第11条の規定に基づき承認

第3号議案 諸規程の改正について

寄付行為第19条第1項第1号の規定に基づき承認

(2) 書面表決 平成23年1月17日(月)

第1号議案 債務負担行為の設定について

寄付行為第10条第2項の規定に基づき承認

- (3) 第52回理事会 平成23年2月10日(木) 於 三重県勤労者福祉会館
第1号議案 平成22年度収支補正予算(案)について
寄付行為第10条第2項の規定に基づき承認
第2号議案 平成23年度事業計画及び収支予算(案)について
寄付行為第10条第1項の規定に基づき承認
第3号議案 諸規程の改正について
寄付行為第19条第1項第1号の規定に基づき承認
- (4) 書面表決 平成23年3月31日(木)
第1号議案 評議員の選出について
寄付行為第26条第2項の規定に基づき承認

○ 評議員会

- (1) 第22回評議員会 平成22年5月24日(月) 於 三重県教育文化会館
第1号議案 平成21年度事業報告及び収支決算並びに財産目録の承認について
寄付行為第11条の規定に基づき承認
第2号議案 諸規程の改正について
寄付行為第27条第4項の規定に基づき承認
- (2) 書面表決 平成23年1月21日(金)
第1号議案 債務負担行為の設定について
寄付行為第10条第2項の規定に基づき承認
- (3) 第23回評議員会 平成23年2月9日(水) 於 三重県教育文化会館
第1号議案 平成22年度収支補正予算(案)について
寄付行為第10条第2項の規定に基づき承認
第2号議案 平成23年度事業計画及び収支予算(案)について
寄付行為第10条第1項の規定に基づき承認
第3号議案 諸規程の改正について
寄付行為第27条第4項の規定に基づき承認
- (4) 書面表決 平成23年3月31日(水)
第1号議案 役員の選任について
寄付行為第13条第2項の規定に基づき承認

3 実施事業の概要

1) 独自事業

基本財産（5,600万円）の運用益を財源として行う公益事業を下記のとおり実施しました。うち、普及啓発業務は県からの受託業務と併せて実施しております。

事業の種類	内 容
普及啓発事業	下水道ポスターコンクール等 （下水道知識の普及及び啓発に関すること：寄付行為第4条第1項）
研修事業	下水道施設の管理に関する研修 （下水道技術者の養成に関すること：寄付行為第4条第2項）

また、特別会計を設け排水設備指定工事店制度に基づく資格者認定事業を行っております。

なお、運営資金は全て受験者及び受講者からの手数料収入によって賄われております。

事業の種類	内 容
排水設備工事 責任技術者認定事業	排水設備工事責任技術者認定試験 排水設備工事責任技術者資格更新講習 （下水道技術者の養成に関すること：寄付行為第4条第2項）

2) 受託事業

平成22年度は三重県から下記の業務を受託し、実施しました。

事業の種類	内 容	事業額（円）
流域下水道の管理 にかかる業務	流入する汚水の処理及び水処理施設の保守、 維持管理	2,369,929,638
流域下水道 汚泥処理業務	汚水処理の過程で発生する汚泥（廃棄物）の 処理及び処分	862,690,454
普及啓発施設 維持管理業務	松阪処理区に設置されている高須町公園オ ートキャンプ場の管理運営	16,070,677
普及啓発受託業務	施設見学、イベントを通じた下水道知識の普 及啓発	763,350

これらの事業はすべて、**収入＝経費**としております。

4 事業実績報告

1) 独自事業

ア 普及啓発事業

○ 下水道ポスターコンクール

概要 募集作品：絵画ポスター

応募対象：県下小学生（4年生から6年生）

応募作品数：73校 613点（平成21年度：86校 532点）

三重県知事賞（1作品）、デザイン賞（1作品）

財団法人三重県下水道公社理事長賞（1作品）、所長賞（5作品）、入選（15作品）

○ 浄化センター見学会

通年事業として、浄化センターの見学会を実施し、平成22年度は5,055名（対前年比：103.0% 21年度 4,909名）の方々が来場し、浄化センターの仕組みや下水道の役割などについて説明し、理解を深めてもらいました。

【見学者来場状況】

	北部	南部	雲出	松阪	宮川	合計
行政関係者	39	8	29	57	70	203
学校関係者	2,137	1,068	380	460	247	4,292
一般	86	7	8	193	266	560
合計	2,262	1,083	417	710	583	5,055
現在までの累計	61,424	13,514	11,717	11,925	3,284	101,864

○ インターンシップ研修生の受入れ

次世代の若者に将来設計などを考える機会を提供するため、高校生や大学生の企業研修プログラムを実施し、平成22年度は4名の研修生を受け入れました。

学校名及び学科	受入人数	研修期間
三重県立四日市中央工業高校 化学工学科	4名	3日間

イ 研修事業

下水道施設の管理における悪水をはじめとする危機管理対策を図るため、県及び公社職員等を対象とした職員研修会「次世代マンホールについての研修」を平成22年4月6日に松阪浄化センターで開催しました。

ウ 排水設備工事責任技術者認定事業

平成10年度から県下29市町の要請を受け、排水設備工事責任技術者を認定する試験業務を実施しています。

時期	内容
11月	資格者更新講習実施
12月	試験実施

【登録者数：平成23年3月31日現在】

《県内》

市町名	人員	市町名	人員
津市	591	木曾岬町	10
四日市市	475	東員町	49
伊勢市	332	菰野町	140
松阪市	413	朝日町	20
桑名市	219	川越町	29
鈴鹿市	396	多気町	59
名張市	140	明和町	68
尾鷲市	5	大台町	37
亀山市	91	玉城町	76
鳥羽市	50	度会町	22
熊野市	7	大紀町	22
いなべ市	144	南伊勢町	79
志摩市	172	御浜町	19
伊賀市	281	紀宝町	8
紀北町	1	計	3,955

《県外》

府県名	人員
愛知県	34
岐阜県	17
滋賀県	18
奈良県	21
和歌山県	8
大阪府	6
京都府	8
群馬県	1
東京都	1
兵庫県	2
静岡県	1
計	117

合計	4,072
----	-------

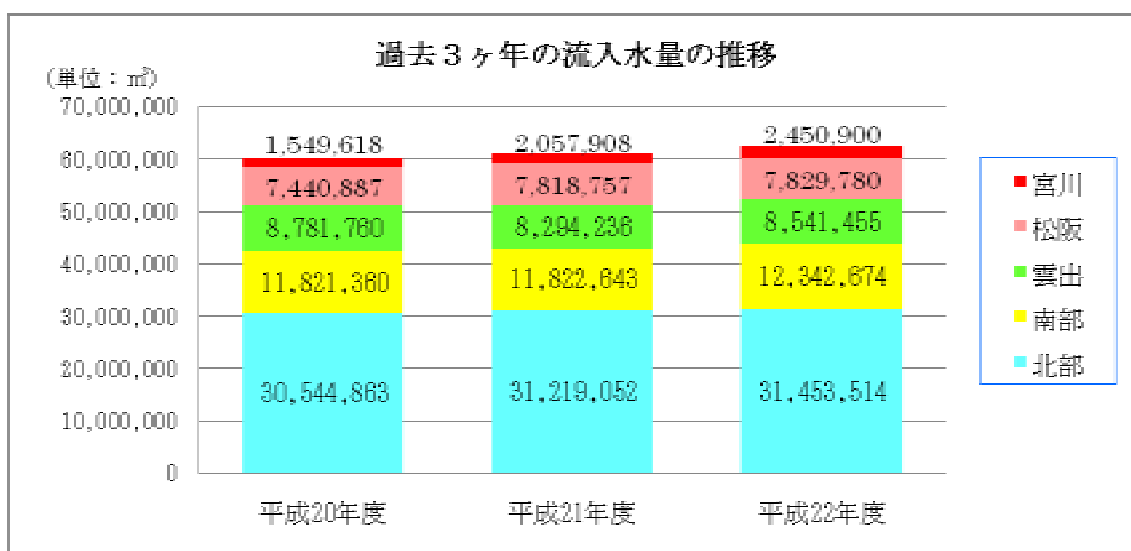
【有資格者数：平成23年3月31日現在 4,992名】

2) 受託事業

ア 流域下水道の維持管理に関する業務

【流入水量】

処理区	平成 21 年度実績 (m ³)	平成 22 年度実績 (m ³)	対前年比
北部処理区	31,219,052	31,453,514	100.8%
南部処理区	11,822,643	12,342,674	104.4%
雲出川左岸処理区	8,294,236	8,541,455	103.0%
松阪処理区	7,818,757	7,829,780	100.1%
宮川処理区	2,057,908	2,450,900	119.1%
合 計	61,212,596	62,618,323	102.3%



【放流水質】

平成22年度の各浄化センターの放流水質については、雲出川左岸浄化センターにおいて、SSの最大値が業務計画時に提示した値を超える結果となりましたが、その他は平均値及び最大値とも業務計画時に提示した値を超えることなく、良好な水質を維持しました。

【平均値】		BOD	COD	SS	T-N	T-P
北部浄化センター	(自主管理値)	4.0	8.0	3	7.2	0.5
	(実績)	1.7	7.0	2	6.9	0.5
南部浄化センター	(自主管理値)	3.0	8.0	3	5.5	0.4
	(実績)	2.2	7.6	2	4.8	0.4
雲出川左岸 浄化センター	(自主管理値)	4.0	9.0	3	10.0	0.6
	(実績)	1.3	7.2	0	7.5	0.4
松阪浄化センター	(自主管理値)	1.5	9.0	<1	9.0	0.5
	(実績)	0.8	6.2	0	7.6	0.0
宮川浄化センター	(自主管理値)	10.0	10.0	10	9.0	0.5
	(実績)	0.8	6.7	0	6.7	0.1

【最大値】		BOD	COD	SS	T-N	T-P
北部浄化センター	(規制値)	15.0	20.0	40	13.0	1.4
	(自主管理値)	8.0	12.0	10	10.0	1.2
	(実績)	3.2	8.4	3	8.5	0.9
南部浄化センター	(規制値)	10.0	20.0	10	10.0	2.2
	(自主管理値)	7.0	11.0	8	9.0	1.5
	(実績)	4.4	9.3	6	7.3	1.1
雲出川左岸 浄化センター	(規制値)	15.0	100.0	40	18.0	1.6
	(自主管理値)	10.0	15.0	5	15.0	1.3
	(実績)	4.1	8.9	6	10.0	1.1
松阪浄化センター	(規制値)	15.0	100.0	40	10.0	1.0
	(自主管理値)	5.0	12.0	3	9.5	0.5
	(実績)	1.3	7.3	2	8.9	0.4
宮川浄化センター	(規制値)	15.0	-	40	10.0	1.0
	(自主管理値)	10.0	15.0	5	9.5	0.5
	(実績)	5.6	15.0	3	8.0	0.5

【処理費用及び処理単価】

処理区	流入水量実績 (m ³)	処理費用 (円)	処理単価
北部処理区	31,453,514 (31,219,052)	1,198,995,896 (1,184,826,550)	38.12 円/m ³ (37.96 円/m ³)
南部処理区	12,342,674 (11,822,643)	600,300,782 (576,845,273)	48.64 円/m ³ (48.80 円/m ³)
雲出川左岸処理区	8,541,455 (8,294,236)	538,558,687 (547,373,423)	63.06 円/m ³ (66.00 円/m ³)
松阪処理区	7,829,780 (7,818,757)	582,192,244 (525,801,781)	74.36 円/m ³ (67.25 円/m ³)
宮川処理区	2,450,900 (2,057,908)	312,572,483 (296,883,061)	127.54 円/m ³ (144.27 円/m ³)
合計	62,618,323 (61,212,596)	3,232,620,092 (3,131,730,088)	51.63 円/m ³ (51.17 円/m ³)

注) 上段：平成 22 年度、下段：平成 21 年度

処理費用は、指定管理業務及び汚泥処理業務の合計額である。

【ユーティリティ調達実績】

○ 電 力

《各処理区の電力調達実績》

処理区	契約種別	契約電力(kw)	調達量(kw/h)	電力費(円)
北部処理区	特別高圧	2,300 (2,300)	15,423,220 (15,121,580)	177,233,586 (176,312,459)
南部処理区	高圧	1,100 (1,010)	7,115,701 (7,296,201)	85,757,425 (87,101,675)
雲出川左岸 処理区	高圧	930 (880)	5,916,528 (5,614,015)	72,321,055 (69,520,571)
松阪処理区	高圧	800 (800)	5,187,331 (5,002,238)	63,806,612 (62,305,348)
宮川処理区	高圧	570 (442)	3,113,279 (2,492,735)	41,940,522 (33,264,629)

注) 上段：平成22年度、下段：平成21年度

《平成22年度中に実施された燃料費調整単価》

	特別高圧(円/kw)	高圧(円/kw)
4月	△0.67	△0.68
5月	△0.58	△0.59
6月	△0.47	△0.48
7月	△0.33	△0.34
8月	△0.14	△0.14
9月	△0.07	△0.07
10月	△0.05	△0.05
11月	△0.16	△0.16
12月	△0.21	△0.21
1月	△0.33	△0.34
2月	△0.46	△0.47
3月	△0.46	△0.47

《燃料費調整単価による電力費の軽減》

(単位：円)

	平成22年4月～6月	平成22年7月～9月	平成22年10月～12月	平成23年1月～3月	計
北部(特別高圧)	△2,194,753	△699,976	△541,971	△1,615,301	△5,052,001
南部(高圧)	△1,038,809	△344,445	△242,944	△737,698	△2,363,896
雲出(高圧)	△829,959	△278,148	△209,105	△631,305	△1,948,517
松阪(高圧)	△734,439	△254,263	△175,059	△554,535	△1,718,296
宮川(高圧)	△359,223	△141,782	△118,644	△368,788	△988,437
計	△5,157,183	△7,868,277	△1,287,723	△3,907,627	△12,071,147

○ 薬品類

北部浄化センターにあつては、プロポーザル方式による薬剤処理業務を導入し、現行の処理施設を前提に最適な薬剤処理を行うことにより、薬剤調達費用及び汚泥発生量の削減、臭気抑制に努めました。

《各処理区の調達実績》

	用途	種 類	実績	金額 (円)
北部	滅菌	次亜塩素酸ソーダ	113,170 kg	97,616,768
	水処理	ポリ塩化アルミニウム (PAC)	382,830 kg	
	脱臭	薄硫酸 (72%)	1,460 kg	
		25%水酸化ナトリウム	3,760 kg	
	汚泥	機械濃縮用高分子凝集剤	6,150 kg	
		機械濃縮用起泡助剤	1,800 kg	
		脱水機用高分子凝集剤	24,300 kg	
		ポリ硫酸第二鉄	462,100 kg	
マロックスSE剤		8,090 kg		
消臭	汚泥消臭剤	77,806 kg		
南部	滅菌	次亜塩素酸ソーダ	30,420 kg	42,645,750
	水処理	ポリ塩化アルミニウム (PAC)	152,650 kg	
	汚泥	機械濃縮用高分子凝集剤	3,375 kg	
		機械濃縮用起泡助剤	792 kg	
		脱水機用高分子凝集剤	11,475 kg	
	消臭	汚泥消臭剤	19,400 kg	
雲出	滅菌	次亜塩素酸ソーダ	55,110 kg	13,018,950
	水処理	ポリ塩化アルミニウム (PAC)	88,150 kg	
	汚泥	機械濃縮用高分子凝集剤	1,800 kg	
		機械濃縮用起泡助剤	972 kg	
		脱水機用高分子凝集剤	9,600 kg	
松阪	滅菌	次亜塩素酸ソーダ	51,020 kg	27,531,000
	水処理	ポリ塩化アルミニウム (PAC)	131,370 kg	
	汚泥	脱水機用高分子凝集剤	10,200 kg	
		ポリ硫酸第二鉄	247,740 kg	
宮川	滅菌	次亜塩素酸ソーダ	7,540 kg	10,141,950
	水処理	ポリ塩化アルミニウム (PAC)	43,250 kg	
	汚泥	脱水機用高分子凝集剤	4,200 kg	
		ポリ硫酸第二鉄	39,120 kg	
	消臭	消臭剤	4,600 kg	

【予防保全業務（修繕業務）実績】

各浄化センターとも当初計画した計画修繕のほか、突発修繕として下記の保全業務を行いました。

《予防保全業務の主な内容》

	内 容	施工業者	金額（円）
北部	No.14・12 汚泥脱水機分解点検工事	メタウォーター(株)	23,625,000
	A 2系初沈掻寄機等分解点検工事	日立プラント建設サービス(株)	18,900,000
	A 2 3・2 4 反応槽攪拌機分解点検工事	日立プラント建設サービス(株)	18,079,950
	No.21 主ポンプ分解点検工事	新菱工業(株)	9,240,000
	No.1 自家発用ディーゼル機関分解点検工事	松岡産業(株)	8,476,650
	No.11 砂ろ過器分解点検工事	日立プラント建設サービス(株)	9,240,000
	A 4系循環ポンプ分解点検工事	桑名電気産業(株)	4,389,000
No.1, 02 次亜塩注入ポンプ分解点検工事	日機装(株)	2,698,920	
南部	No.1 主ポンプ分解・点検工事	(株)伊藤デンテック	27,492,150
	Ⅲ系返送汚泥、余剰汚泥ポンプ分解・点検工事	三重藤吉工業(株)	8,820,000
	No.3 汚泥脱水機修理工事	ジェイファイ三重テックサービス(株)	4,588,500
	Ⅱ系No.3 循環ポンプ修理工事	親和電機工業(株)	2,520,000
	Ⅱ系初沈・終沈、Ⅲ系終沈汚泥掻寄機駆動装置分解点検工事	神鋼環境メンテナンス(株)	5,460,000
雲出	1号機械濃縮設備分解整備点検	月島機械(株)	28,875,000
	4号ブロワ設備分解整備点検	ジェイファイ三重テックサービス(株)	13,807,500
	2系水処理機械設備分解整備点検	ジェイファイ三重テックサービス(株)	19,950,000
	スクリーンポンプ棟流入ポンプ分解整備工事	三愛物産(株)	5,407,500
	香良洲中継ポンプ場3号汚水ポンプ修繕工事	中部企業(株)	2,625,000
松阪	No.2 汚泥脱水機他分解整備工事	メタウォーター(株)	24,780,000
	No.1-1 流入ポンプ及びNo.4 放流ポンプ整備工事	新菱工業(株)	11,550,000
	1系No.2 スカム移送ポンプ整備工事	ラサ商事(株)	3,570,000
	三渡川ポンプ場汚水ポンプ羽根車取替工事	荏原テクノサーブ(株)	6,034,350
宮川	No.1、No.2 循環ポンプ分解整備工事	(株)アックス三重	2,835,000

イ 流域下水道汚泥処理業務

【汚泥処理量】

各センターで発生する脱水ケーキは、ほぼ全量セメント原料としてリサイクルしましたが、しき汚泥の処分は焼却業者に処理を委託しました。（※ 全量＝県内処理）

- 脱水ケーキ処分業者 太平洋セメント(株) 藤原工場 (いなべ市)
- 〃 収運業者 エス・エヌ・ケー・テクノ(株) (いなべ市)
- 〃 収運業者 三岐通運(株) (四日市市)
- しき汚泥収運・処分業者 (株)オー・シー・エス (尾鷲市)

	汚泥発生量 (t)		流入水量 (m ³)	平均含水率	脱水機性能
	脱水ケーキ (しき混載含む)	しき汚泥			
北部処理区	20,237.92	73.25	31,453,514	74.0%	78.0%
南部処理区	8,053.34	4.31	12,342,674	74.2%	78.0%
雲出川左岸処理区	5,562.21	—	8,541,455	73.4%	80.0%
松阪処理区	5,932.45	9.11	7,829,780	73.5%	77.0%
宮川処理区	1,650.36	—	2,450,900	73.9%	77.0%
合 計	41,436.28	86.67	62,618,323		

ウ 普及啓発施設管理業務

中勢沿岸流域下水道松阪処理区高須町公園における管理対象施設は、次のとおりです。

- 高須町公園オートキャンプ場 ○ テニスコート、サッカー場、多目的広場
- せせらぎ公園

管理運営方法

通年営業（但し、水曜日と12月29日～1月3日は休業日）

但し、繁忙期であるゴールデンウィーク、夏季期間（7月20日～8月31日）の水曜日及び水曜日が祝日の場合は営業しました。

なお、閑散期である12月1日～2月28日までの間は、施設整備期間とし、デイキャンプのみの営業を行いました。

《年間利用者数》

	平成21年度		平成22年度		対前年比	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
トレーラーハウス	169件	789名	160件	776名	94.7%	98.4%
バンガロー	208件	946名	194件	984名	93.3%	104.0%
オートサイト	288件	1,123名	319件	1,270名	110.8%	113.1%
フリーサイト	364件	1,563名	309件	1,233名	84.9%	78.9%
計	1,029件	4,421名	982件	4,263名	95.4%	96.4%
デイキャンプ	185件	1,883名	190件	2,166名	102.7%	115.0%
合 計	1,214件	6,304名	1,172件	6,429名	96.5%	102.0%

エ 普及啓発業務

独自事業の啓発業務と併せて、下記のとおり普及啓発業務を実施するとともに、水の浄化に最も重要な微生物の働きについて、興味を持ってもらうようにするため、微生物カードを作成し、イベントや見学会等で配布しました。

《普及啓発メニュー》

実施時期	項目	内 容
通 年	施設見学会	各浄化センターへ見学者を受け入れ、ビデオ、顕微鏡観察などで浄化センターや下水処理の仕組みについて理解を深め、処理工程を見学いただきました。
通 年	下水道ポスターコンクール	優秀作品などの展示やパンフレットをPR資料として活用しました。
7月末	県イベント 「Mie こどもエコフェア」 出展	「下水道で活躍する微生物～ミクロの世界～」と題して、顕微鏡観察、クイズラリーなど参加型のメニューによる啓発活動を行いました。
通 年	公社ホームページによる 情報発信	下水道の学習コーナー、ふれあいコーナー「みんなの下水道」等をホームページ上に掲載したりするなど、定期的な情報発信を行いました。